

平成13年4月21日

「としま商人（あきんど）まつり i n 巣鴨」開催

～点から面へ～「チャレンジ豊島21」春の祭典スタート

本日4月21日（土）、豊島区巣鴨・西巣鴨地区で「としま商人（あきんど）まつり i n 巣鴨」が「チャレンジ豊島21」春の祭典のオープニングとして開催された。（主催：としま商人まつり実行委員会事務局・豊島区）

「としま商人（あきんど）まつり」は、元気で活力ある豊島区を目指し、商店街、百貨店、東京商工会議所豊島支部、豊島区商店街連合会など区内の商業団体と行政とが手を結んだ一大商業イベントとして平成11年にスタート。昨年までは池袋を会場として開催されていたが、今年から新たに加わった巣鴨会場の翌週に池袋会場で開催されることとなり、点から面へとまつりが拡大する。（池袋会場は4月28・29日の開催）

「としま商人（あきんど）まつり i n 巣鴨」のメイン会場となるのは、地蔵通り商店街の入口に位置し、江戸六地蔵のひとつで知られる眞性寺（巣鴨3-21）。メイン会場では、岩手県一ノ関の観光と物産展のほか、昼12時と午後3時に餅つき大会が開かれ、来場者はつきたてのお餅をおいしそうに食べていた。地元巣鴨・西巣鴨地区の8商店街をめぐるウォークラリーも行なわれ、全部の商店街を回った参加者たちは、商店街の商品券や岩手県一ノ関1泊2日の旅行券を抽選で手にしていた。

また、今回PR用に作成したチラシ13万枚のうち3万枚にこの巣鴨・西巣鴨地区を走る都電の無料利用券（21・22日の2日間のみ有効）をつけた。イベントに合わせ、都電に乗って商店街めぐりを楽しんでもらおうと、都電沿線の家庭に新聞折り込みで配布した。地蔵通りに集中しがちな客足を都電を活用して点から面へ、周辺に広げていこうとするものである。

また4月28・29日に開催予定の「としま商人まつり（池袋会場）」では池袋西口公園で豊島区内のアマチュアバンドによる音楽祭（ウエストゲートパーク・ミュージックフェスティバル）が連日開かれる予定である。

【チャレンジ豊島21 「春の祭典」】

区内で年間に行なわれるイベントは「としま商人まつり」、夏の「大塚阿波踊り」、秋の「ふくろ祭り」「ウエストパーク・フェア」といった大規模のものから地域の商店街で行なわれるものまで50以上になる。「チャレンジ豊島」は「いつも、どこかで、何か楽しいことが」をキーワードに、イベントを春・夏・秋の各季節ごとに「祭典」という‘リボン’で束ねたもので一体性を持たせて効果的なPRを展開することにより、豊島の街の元気・活気を生み出そうと昨年からは始まった試み。今後も引き続き、4月から6月まで「春の祭典」として池袋、長崎、巣鴨、駒込の各地区で計19件のイベントが開催される。

問合せ—としま商人まつり i n 巣鴨実行委員